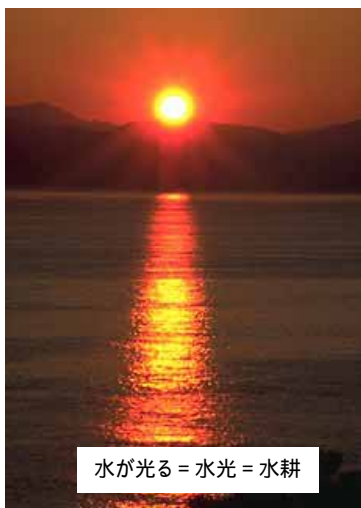


M式たよりも1997年12月創刊以来、丸2年を迎えました。月一回発行を継続でき通算25号までお届けしてまいりました。この間、タイムリーな情報提供をいち早くお届けすることに徹してきました、昨今では毎月楽しみにしていると言っただけのお客さんも増えてまいりました。そこで、節目の2000年を迎えるにあたり、さらに前進すべく紙面も刷新し、よりわかりやすく、早くをモットーに充実化を図っていきたくと考えております。今号から通算発行号数の番号づけの体系も組み込みました。より一層のご愛顧のほどをお願いいたします。
(編集子)



水が光る = 水光 = 水耕



トマトの幹を炭化した培地利用でパプリカ栽培(M式農場)



工事中の植物工場

今年もM式は頑張ります！ 年頭の一口抱負をお聞きください。

代表取締役社長 村井邦彦

新しい年2000年も、変革がますます進み、価値観・ライフスタイルもさらに大きく変わってくるといわれております。農業分野も例外でなく、世代交代促進・こだわり生産品増加・国際競争激化など変化が一段と促進される流れは続くものと考えられます。

M式では、昨年に引き続き皆様の経営確立に寄与できる商品供給をとの思いで邁進してまいります。年初めには超高度生産植物工場を完成させますし、夏までには、環境に優しいゼロエミッション脳業をめざしてドリーム・カーボン水耕を完成させたいと考えております。水耕栽培という最先端農業を行っているという自負ゆえに、社会および世界に貢献できるよう、そしてお客様各位のご発展に寄与できるよう頑張っていく所存ですので、ご協力・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

専務取締役 阿部芳巳(開発)

M式水耕研究所はメーカーです。メーカーの使命は、お客様に歓迎される商品開発をしつづけることだと思っています。変革の激しい昨今において時代の変化を先取りし満足していただけるような研究開発・商品開発を展開することは安易ではありませんが、社員一致協力して、どんどん新しい提案をしていきたいと思っております。今年も従前と変わらぬご愛顧をお願いいたしま

す。

常務取締役 村井信二(営業)

昨年は、関東では7000坪のトマト大型団地、あるいはM式としての初めての完全制御型植物工場(人工光源使用)、愛知県ではダッチライト温室含めた水耕システム、全国的には移植機などの注文をいただきました。これからの商品が皆様から評価いただいたものと喜んでおります。今年、このような新しい芽を皆様と共にさらに拡大させてまいりたいと思っております。

取締役 飯田式夫(流通)

流通部門も中だるみ傾向となっておりますが、新生M式をリードする気持ちでさらに一歩前に踏み出す取り組みをしてまいります。

取締役 志水勲(お客様相談室)

今年も千年紀の節目の年、これを機に社員一同原点に帰って真心のこもったサービスを提供し、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っております。

村井 寛(九州・北陸地区担当)

2000年がスタートし皆様も新たな気持ちで頑張っておられることと思っております。ピンチをチャンスと考えるプラス発想でミレニアムへ船出しましょう。

神谷高裕(千葉地区担当)

今年、商品をお客様にお届けし、さらにはお客様のご意見、ご要望に応えられる

活動を目指します。

川村庄一(東海地区担当)

今年は知的労働性の向上を目指してお客様から期待されるような営業を目標にがんばります。

柏原 功(三重名古屋地区担当)

今の冷え切った日本を、確固たる哲学と新たな希望を持ちながら、共々に日本の農業をリードしていきましょう。

岡本正則(東北北関東地区担当)

農業を取り巻く環境は大寒のように厳しいようですが、皆様と共に暖かい年になるように努力してまいります。

武田基詩(中四国地区担当)

昨年より今年も皆様のお役に立てるよう若さと行動力で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

小倉東一(植物工場担当)

M式植物工場の登場で植物工場の第三世代バージョンの幕開けです。儲かる植物工場の確立に注力します。

石井桂子(国際アグリデザイン部)

提案型、新しい情報の提供、交流を目標に進みたいと思っております。

山下良弘(お客様相談室)

2000年は、水耕野菜価格が上向きになるよう念じております。今年も皆様と共に進みたいと思っております。

姫松雄治(流通事業部)

売れ筋品目確立と販売先確保に今年も注力したいと考えております。